

1. 本年会がカーボン・オフセットに取り組む趣旨

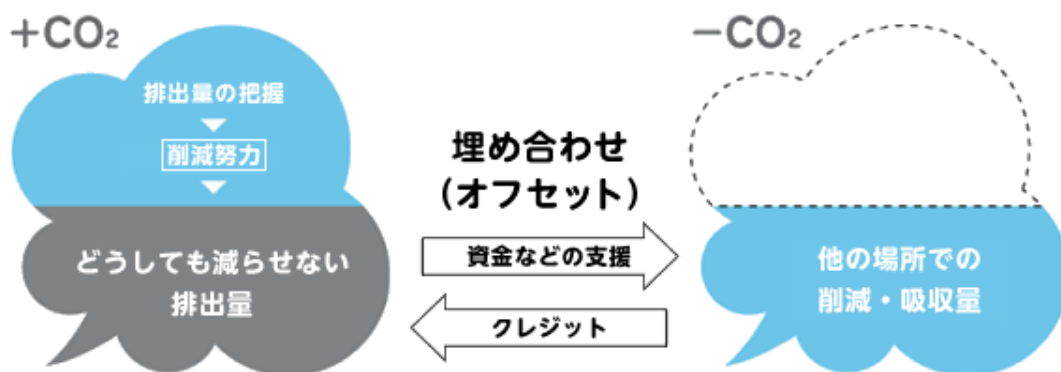
18 世紀、イギリスに端を発した産業革命は、人類の生活の質を著しく高めることに貢献した一方で、有害物質や温室効果気体の大量排出をもたらしました。このうち有害物質については、多くの技術開発によって排出量を大幅に減少させることに成功しましたが、二酸化炭素に代表される温室効果気体の排出量はいまだに増加の一途をたどっています。それゆえ、地球温暖化は今世紀最大の環境問題の一つに数えられています。IPCC の第 5 次報告においては、追加的な緩和努力がない場合、21 世紀末までの温暖化は、深刻で広範にわたる不可逆的な世界規模の影響をもたらすリスクが高いと述べられています。こうした状況を鑑み、大気環境学会は第 56 回年会において、有効な温暖化緩和策の一つと目されるカーボン・オフセットへの試行的取り組み及び広報活動を通じて、地球温暖化の緩和に貢献したいと考えております。年会に参加される皆様におかれましては是非ともご理解、ご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

2. カーボン・オフセットとは？

「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）」(https://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset/guideline/140331guideline.pdf)では、カーボン・オフセットを次のように定義しています。

【定義】

カーボン・オフセットとは、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることで、すなわち『知って、減らして、オフセット』の取組をいう。



(出典) J-COF <http://www.j-cof.go.jp/cof/>

また同指針では、カーボン・オフセットの意義として、3点を挙げています。

- (1) 社会の構成員が地球温暖化問題は自らの行動に起因して起こる問題であることを意識し、これを「自分ごと」と捉え、主体的に温室効果ガスを削減する活動を行うこと。
- (2) クレジットを介して、温室効果ガスの排出削減・吸収を実現するプロジェクト、活動等の資金調達に貢献すること。
- (3) 埋め合わせに用いるクレジットによって、地域の活性化に貢献すること。

本年会では、年会開催に伴い排出される温室効果ガスを、地産地消の観点から主に都内で創出されたクレジットによって埋め合わせを行います。

3. 参加者各位に協力いただく内容

カーボン・オフセットは「知って」、「減らして」、「オフセット」が基本プロセスのため、以下、そのプロセスにそって説明します。

3. 1 「知って」

カーボン・オフセットの実施に当たり、まず、オフセットの対象や算定範囲を決め、温室効果ガス排出量の算定を行う必要があります。本年会の算定範囲は、(1)参加者の年会会場までの移動に伴う排出量、(2)年会会場、懇親会会場の電力使用に伴う排出量です。

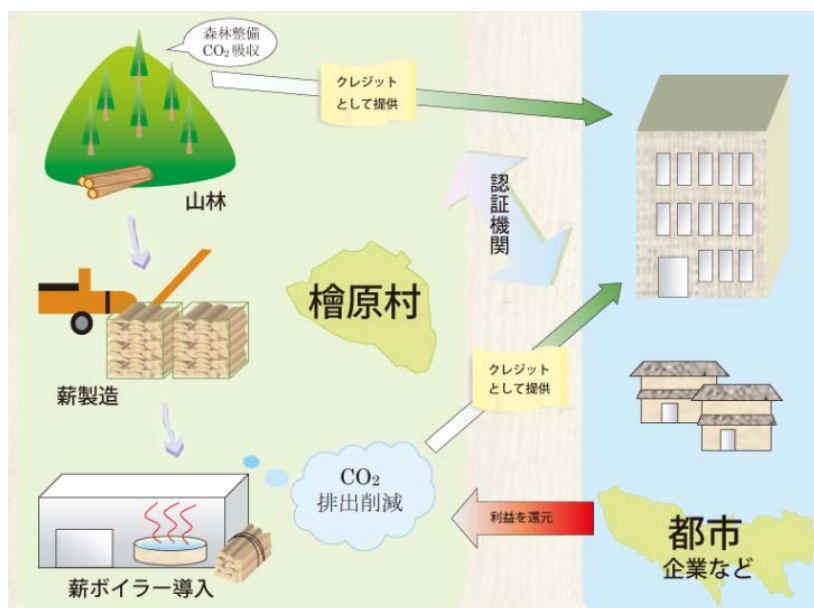
参加者各位には、年会申込み時に、①出発地点となる勤務地または自宅の最寄り駅と、②主な交通手段を入力していただきます。

3. 2 「減らして」

カーボン・オフセットの実施に際しては、自主的に温室効果ガスの削減努力を行う必要があります。参加者各位には、公共交通機関での来場、クールビス、節電・節水、ごみの削減等にご協力をいただきます。

3. 3 「オフセット」

参加者各位には、木製名札と引き換えに、クレジット購入のためのワンコインのご協力をいただきます。クレジットは、地産地消の観点から主に都内で創出されたクレジットで埋め合わせを行います。



(出典) 東京都檜原村 J-VER プロジェクト

<http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/biomass/summary/03.html>

4. 地球温暖化、カーボン・オフセット関連の取組み

本年会では、地球温暖化、カーボン・オフセット関連の取組みとして、以下を実施します。

- (1) 地球温暖化の理解促進のため、一般参加者を対象にした「地球温暖化と大気汚染(仮題)」のシンポジウムを開催します。
- (2) 年会オフセットのシンボルマークとしてロゴを作成し、要旨集、Web サイト、バック、チラシへ貼付します。
- (3) カーボン・オフセット製品の開発のための補助金制度をご紹介します。



第56回 大気環境学会年会

5. カーボン・オフセットに関する情報源

カーボン・オフセットに関する公的な情報源としては、以下が挙げられます。

- (1) 環境省 カーボン・オフセット

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html

カーボン・オフセットに関連する検討会・委員会、指針・ガイドライン等各種情報が掲

載されています。

(2) 環境省 カーボン・オフセット制度 <http://www.ics.go.jp/>

カーボン・オフセットに関連する「カーボン・オフセット認証制度」、「オフセット・プロバイダープログラム」等の各種制度が掲載されています。

(3) カーボン・オフセット フォーラム (J-COF) <http://www.j-cof.go.jp/>

環境省によりカーボン・オフセットの推進・検討に資するために設置された、カーボン・オフセットに関する情報収集・提供、普及啓発、相談支援等の総合窓口です。